

授業再開にあたって(新型コロナウイルス感染症にかかわる対応について)

ユマニテック短期大学

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点により大学を臨時休校としていましたが、5月14日付をもって非常事態宣言が解除されました。本学では「3密」(密閉・密集・密接)を避けるなどの感染防止対策を徹底した上で、以下のとおり6月1日(月)から対面授業を再開します。授業再開に際してのお願いと注意事項を次のように学生に周知しておりますので、ご対応の程よろしくお願ひします。

○授業について

- ・大学登校時には設置のアルコールにて消毒した後、大学に入構する。
- ・自宅で検温し、名簿に検温結果を記入する。検温し忘れた学生は学内に設置した体温計で検温し、37.5℃以下の場合に入構することができる。
- ・37℃~37.4℃の学生は昼休みに事務局で再度検温し、37.5℃の場合は帰宅、自宅待機とする。
- ・自宅等での検温結果が 37.5℃以上の場合はその旨を大学事務局に連絡し、自宅待機する。自宅待機者は後日、レポートを提出することで出席扱いとする。
- ・教室では、間隔を空けて着席する。
- ・教員の指示に従い、20~30分に1回は教室内の換気を行う。
- ・大学滞在中は常にマスクを着用し、手洗い、消毒を励行し、感染予防に努める。

○感染が疑われる、もしくは感染した場合

- ・体調がすぐれない、37.5℃以上の発熱や咳、倦怠感などの症状がある人は、登校せず、自宅にて静養する。その場合は必ず大学事務局へ欠席連絡を入れる。
- ・少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに帰国者・接触者相談センター(保健所)に相談し、指示を仰ぐとともに、大学事務局に連絡する。

☆ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

☆ 重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

(※) 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

☆ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

- ・家族で感染者が出た場合は大学事務局へ連絡し、その日から2週間の自宅待機とする。
- ・感染者と濃厚接触したと特定された場合または濃厚接触した場合は、大学事務局へ連絡し、感染者と最後に濃厚接触した日から起算して2週間、自宅待機とする。
- ・学生自身、もしくは教職員が感染者となった場合は、速やかに大学事務局へ連絡する。この場合は出席停止となる。登校再開にあたっては、居住する市町村の保健所の指示に従い、再開可能であることを証明する医療機関の証明書等を大学事務局に提出する。
- ・学生及び教職員が感染した場合は、大学全施設の消毒を実施するため、大学は閉鎖されるため、再開時期については本学 Web サイト上で発表されるので、随時、確認する。

○全体的な注意喚起

- ・普段から学生及教職員は、マスク着用、手洗い・消毒の励行、不要不急の外出と人混みの回避など、感染予防に努める。